

令和7年8月27日

令和7年度 永耕会ホーム地域連携推進会議 招集通知

社会福祉法人 永耕会
永耕会ホーム
管理者 河辺 邦夫

立秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は社会福祉法人永耕会の事業にご理解、ご協力を頂きましてありがとうございます。

令和7年度より、共同生活援助（グループホーム）及び障害者支援施設について、地域と施設等が連携をすることにより、利用者と地域との関係づくりや、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進等を目的として、施設等の外部の方を構成員とした「地域連携推進会議」を定期的を開催することが義務付けられました。

永耕会ホームでは、下記の通り「令和7年度永耕会ホーム地域連携推進会議」を開催する事になりました。趣旨をご理解いただき、ご出席いただきますようお願いいたします。

記

- 日時 令和7年9月25日（木） 10時より12時
- 場所 永耕会コミュニティルーム
- 出席者 永塚自治会長 宇佐美様 上千代自治会長 隅田様
永耕会ホーム（上千代）入居者様 永耕会ホーム（第一ホーム）ご家族様
こゆるぎ幼稚園園長 新井裕介様
社会福祉法人明星会 職員様
- 事務局 河辺（永耕会ホーム管理者）、小山（永耕会ホーム）、遠藤（永耕会ホーム）
香川（デイセンター永耕所長）

<流れ>

- 午前10時 永耕会玄関前にお集まりください
- ホーム見学：永耕会の車両で、永塚地区：第一ホーム・第二ホーム、上千代地区：あすなろ・青空・上千代を見学します。
- 会議：見学後、永耕会コミュニティルームで会議・意見交換を行います。
 - ・各ホームの概要、利用者様の状況、支援の状況、人権・防災等への取組
 - ・利用者様、ご家族からのご意見、地域の皆様からのご質問、ご意見等

◇12時終了

- ・お礼としてデイセンター永耕ジョイのパン詰合せをご用意いたしております。

事務担当

社会福祉法人 永耕会

電話 0465-42-2268

FAX 0465-42-6050

河辺邦夫

令和7年9月25日

令和7年度 永耕会ホーム地域連携推進会議 次第

社会福祉法人 永耕会
永耕会ホーム 管理者 河辺邦夫

- 日時 令和7年9月25日（木） 10時より12時
- 場所 永耕会コミュニティルーム
- 出席者 利用者：あすなろホーム入居者様
御家族：岩城葉子様（第一ホーム池田様ご家族）
地域関係者：宇佐美永塚自治会長、隅田上千代自治会長
福祉（経営）に知見のある人：
こゆるぎ幼稚園新井裕介様（社福）明星会・廣澤所長
事務局：河辺（永耕会ホーム管理者）、小山（永耕会ホーム）、遠藤（永耕会ホーム）
香川（デイセンター永耕所長）

1, ホーム見学

- ・永塚地区：第一ホーム・第二ホーム
- ・上千代地区：あすなろ・青空・上千代

2, 出席者の紹介

3, 永耕会ホームの概要説明

◇上千代地区

◇永塚地区

3, 意見交換

- ・ホーム見学の感想
- ・それぞれのお立場からのご意見等

◎参加承諾書の提出をお願いします

◎ささやかですが、デイセンター永耕のパン工房ジョイで焼き上げたパンの詰め合わせをお持ち帰り下さい

令和7年9月25日
 永耕会ホーム
 地域支援部長
 遠藤 友隆

永耕会ホーム（おちゃの実・なかまたち、第二ホーム）の報告

1) ホームの概要について

永耕会ホームは、永塚地区において以下のグループホームを運営しております。

ホーム名	第一ホーム		第二ホーム
	おちゃの実（1階）	なかまたち（2階）	
所在地	小田原市永塚 328 番地の 3	小田原市永塚 328 番地の 3	小田原市永塚 289 番地の 1
定員	6 名（女性）	6 名（男性）	7 名（男性）・3 名（女性）
入居者数	6 名	6 名	10 名
平均年齢	61.5 歳（最高齢 73 歳）	62 歳（最高齢 80 歳）	54.1 歳（男性最高齢 73 歳） 55.6 歳（女性最高齢 65 歳）
日中活動	◆永耕園を利用：6 名 ・デイサービス利用：1 名	◆永耕園を利用：5 名 ・デイサービス利用：1 名	◆永耕園を利用：8 名
特徴	障害支援区分（4～5）の障害を持たれている方が生活しているホームです。	障害支援区分（2～5）の障害を持たれている方が生活しているホームです。	障害支援区分（4～6）の障害を持たれている方が生活しているホームです。

2) 支援の状況について

支援員は早番、日勤、遅番、夜勤の体制で勤務しています。健康管理、金銭管理、入浴や排泄等の日常生活の支援等を行っています。他に食事全般（調理・配膳・片付け）の業務を行う世話人がおり、朝食と夕食の提供をいただいています。食材については配食サービスを利用し、定期的に配達していただいています。

健康面について、年 2 回の健康診断を実施しています。結果によっては掛かり付け医へ報告し、必要に応じ再検査や服薬調整等を行っています。この他朝夕に検温を実施。基礎疾患のある方は血圧や酸素飽和度の計測も行っています。ホームには看護師が居ませんので積善会グループの訪問看護ステーションと契約、月に 1 度来訪していただき、一人一人と会話を持ち、血圧計測等の健康確認をしています。早期に体調の変化に気づき、より適切な医療へ繋げられるように、健康状態の確認に努めています。

余暇では年に一度旅行を実施しています。一人一人に希望等をうかがい、少人数のグループを編成し、温泉へ行ったり、有名ホテルのバイキングを食べて来る等の企画を立てています。希望によっては 1 対 1 で公共交通機関を利用して遠方へ出掛ける事もあります。職員以外と外出したいと思う方もいる為、ヘルパー制度を利用して外出をする方もいます。

3) 人権、防災について

(1) 人権への取り組み

毎月一回、各グループホームにて「利用者の会」を開催しています。余暇活動や月の予定等を伝え、生活の中で困っている事等をうかがう機会を設け、不便な部分がある場合は適切に対応をするなど、皆さんで共有する場として捉えています。

事業所としては支援員を対象に毎月研修会を開催しています。内容は人権に関する事や虐待防止、身体拘束の廃止に向けた研修を行い、人権(虐待等)の理解や防止について努めています。

法人としては年3回人権委員会を開催し、虐待や苦情等に適切に対応をするように努めています。

(2) 防災への取り組み

毎月、各グループホームで火災や地震を想定した避難訓練を行っています。

毎年小田原市の防災一斉訓練へ参加させていただいています。全員参加ではありませんが、希望者を募り、少ない人数ですが近所の一時避難場所(永塚観音)へ避難し、地域の方と一緒に広域避難場所(千代小学校)まで移動しています。千代小学校では三角巾を使用したり、器具を使用しての給水ポンプから水を汲み上げる様子も見させていただき、実際に飲水をするなど貴重な体験もさせていただいています。

繰り返し訓練を行う事で防災に対しての意識付けにもなっています。

4) 苦情対応について

(1)2018年(H30)10月、第一ホーム並びの住宅にお住いの方から、「うっ、うっ」と発情したような声が聞こえてきて気持ちが悪い。草むしりをしていると「こんな時間に草むしりをして」というような声が聞こえ、草むしりが出来なくなった。また奥の畑から大きな笑い声が聞こえてくるという内容でした。

住民の方へ利用者の障害特性等をお伝えすると、永耕祭やデイセンター永耕のショップでパンを購入していただいている様でご理解が得られた様子でした。利用者には利用者の会で人との付き合い方等を説明しています。以後苦情がありません。

(2)2019年(R1)12月、第二ホームの利用者が永塚観音にある掲示板より「(来年開催)どんと焼きの案内」のチラシを剥がし、持って帰ってきてしまった様でした。

当時の永塚自治会長様へ電話をし、お詫びと状況の説明をさせていただいています。自治会長様からは「分かりました」「補強して貼って来たんだが…」と返答がありました。利用者本人には私物以外の物には「触らない」と説明をさせていただいています。以降同様なケースは見られていません。

(3)2024年(R6)3月、曾我病院から、「御殿場線の踏切近くのお宅から「ゴミ集積場に捨てられたごみ袋を弄っている人が居る」と苦情の電話がありました」と連絡が入りました。

電話を下さった住民の名前やはっきりとした場所は不明ですが、利用者の中でお一人グループホーム前にあるごみ集積場のゴミを同様に触る人が居る為、下曾我駅東側にある永塚踏切近くにあるゴミ集積場を確認しますが、すでに収集された後でした。ご本人に尋ねると、手でバツ印をしており、実態は不明ですがゴミ集積場に出されているゴミは触らないように説明をしています。以降苦情等の連絡はありません。

永耕会ホーム（あすなろ、上千代、青空）の報告

1. ホームの概要

永耕会ホームは、千代地内において以下の3つのグループホームを運営しております。

ホーム名	あすなろホーム	「上千代」ホーム	青空ホーム
所在地	小田原市千代 303-2	小田原市千代 204-4	小田原市千代 209-15
定員	9名（男性）	7名（男性）	3名（男性）
入居者数	9名	5名	1名
日中活動	<ul style="list-style-type: none"> ■デイセンター永耕通所者：6名 ■他法人通所施設：1名 ■一般就労者：2名 	<ul style="list-style-type: none"> ■他法人通所施設：1名、 ■一般就労者：3名、 ■のんびり1名 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般就労
特徴	障害支援区分の平均(3.3)障害の程度が中軽度の方たちが生活するホームです。	障害支援区分の平均(2.4)障害の程度が軽度の方たちが生活するホームです。	障害支援区分の平均(3)ホーム職員事務所を兼ねたホームになります。

2. 支援の状況

(1) グループホームについて

■目的・役割：

障害者グループホームは、障害のある方が、地域で自立した暮らしを送ることを目的に、少人数で共同生活を送るための「住まい」です。日中は職場や作業所、デイセンター永耕などの活動の場に出かけたり、自宅で過ごしたりと、それぞれの生活スタイルに合わせて過ごします。ホームには、支援スタッフが訪問し、食事の準備、健康管理、金銭管理、入浴や排泄などの日常生活のサポートを提供して、障害のある方が地域の中で自立した生活を送れるように支援をしています。

(2) 永耕会ホームの支援状況

「あすなろ」、「上千代ホーム」は毎日、夕方から翌朝にかけて世話人さんが勤務に入り夕、朝食を提供したり、また、ホーム内の掃除などを行っています。「あすなろ」ホームに関しては土日、祝日も日勤を配置し昼食の提供も行っています。あすなろホームの利用者さんの中には、一人で外出できない方がいるため、月に2~3回ヘルパーさんとの外出を企画し外出して、余暇と経験の場としています。一方、ホーム全体の余暇活動も行っており、年に2~3回程度利用者のみなさんが一緒になって外出するレクを実施しています。ちなみに、昨年度は水族館にでかけています。実施に当たっては、基本的に利用者さんの意思を尊重して支援することを心がけています。

3. 人権、防災に関して

(1) 人権への取り組み・健康へのアプローチ

毎年人権委員会を年3回以上行っています。過去に利用者さんにホームでの生活や職員世話人さんの対応の仕方についてアンケートを行ったり、世話人さんにどういった対応をすると虐待にあたるか動画を視聴しながら説明を行ったりしています。

以前には、県の職員に来ていただき人権に関する研修を行うなどして、虐待の理解と防止に努めております。

人権に関する事だけでなく、健康に日々を過ごせるように、日常的に健康チェックを行い、必要に応じて医療機関との連携しながら、利用者それぞれの健康面からの支援を行っております。また、職員としての基礎知識として、法人の看護師による感染症を始めとした、健康維持に関する研修も行ったりしています。

積善会曾我病院の訪問看護ステーションの訪問看護を受けています。

(2) 防災への取り組み

・毎年、6,12,3月にあすなろホームにて火災や地震を想定した避難訓練及び水消火器を使用した消火訓練を行っています。あすなろホームは小田原市のハザードマップにて水害地域に指定されているため6月に水害を想定した垂直訓練も行っています。また7月には世話人、職員対象であすなろホームにて火災報知器を使用した通報訓練を行っています。災害が起こった時の事を想定し、各ホームに簡易トイレや防災備蓄の食料等も保管しています。

4、障害者が地域で生活すること、グループホームの意義

■ 個人の尊厳と自己決定の尊重

重要なのは、その人らしい人生を歩むということです。

施設や病院での集団生活では、個人の意思や選択が制限されがちです。地域で生活することで、住まいや日中の過ごし方、食事、余暇活動など、自分の意思で選択し、主体的に生活を送ることができます。それを保証することは、その人らしい人生を歩む上で非常に重要です。

■ 多様な生き方の実現

地域には、働く場所、学ぶ場所、趣味を楽しむ場所など、様々な社会資源があります。これらを活用することで、障害の有無に関わらず、一人ひとりの個性や能力を活かした多様な生き方を実現することができます。

■ 地域の共生社会への貢献

障害者が地域生活を送ることは、地域住民の方々に障害について知ってもらい、理解を深めるきっかけになります。これにより、地域全体で多様性を認め合い、支え合う「共生社会」の実現につながるものと考えます。

このように、障害者がグループホームを利用し、地域で生活するということは、単に場所を移すだけでなく、尊重されるべき一人の人として存在し、その人らしい人生を送り、地域の方々と社会全体を豊かにしていくための重要な取り組みだと考えます。

4、ホームにあったこれまでの苦情

(1) 2018年4月、あすなろホームの利用者が下曾我駅にて女子高生のふとももを触ってしまいその場で警察官に確保される。こちらから警察の方には「一般の方と同じ処罰を」とお願いするも警察からは「二度と同じことを起こさないよう対応してほしい」との話がある。その後、デイセンターへの登園は送迎車を使用。単独での外出は禁止し、職員等の同行を義務付けている。またあすなろホームには土日祝日にも日勤職員を配置し、一人になってしまうことがないように対応。2018年以降、上記のような行動は見られていない。

(2) 2020年4月、あすなろホーム隣のアパートより「たばこの煙が気になる」と管理会社を通じて話がある。ホーム喫煙所がアパートのすぐ横にあったため場所をホーム裏手に移動。また利用者さんに状況を説明し、喫煙者には電子タバコに変更をお願いしている。上記のような対応をした後は特に苦情は来ていません。

地域連携推進会議

2025年度 永耕会ホーム

管 理 者		部 長		担 当	
-------------	--	--------	--	--------	--

実施日時 2025 年 9 月 25 日 木 曜 日 10 時 00分から 12時 00分まで

参加者： 下記参照

司会 河辺

記録者 香川

場 所 永耕園コミュニティールーム

NO. 1

*出席者：利用者：あすなるホーム入居者様 ・ご家族：岩城葉子様（第一ホーム入居者様ご家族）

地域関係：宇佐美永塚自治会長、隅田上千代自治会長（上府中連合自治会長）

福祉に知見のある方：こゆるぎ幼稚園園長新井裕介様、明星会放課後等デイサービス所長廣澤様

事務局：河辺（永耕会ホーム管理者）、小山（永耕会ホーム主任）、遠藤（永耕会ホーム主任）

香川（デイセンター永耕所長）

*ホーム見学：永塚地区、第一ホーム・第二ホーム 上千代地区、あすなる、青空、上千代

*ホームの概要説明：別紙参照

*意見交換

・ホーム見学の感想

隅田様：失礼ながらもっと古びていると思っていた。建物がキレイで驚いた。

宇佐美様：私もキレイで驚いた。居室や玄関などの共有部分も整理整頓されていた。

新井様：ホームの入居者が近隣でお仕事をされていると聞き、歩いていけるところで仕事ができることは良い距離感だと思った。

廣澤様：ホームから永耕園が近いことは法人としての強み。利用者や職員にとっても安心感がある。

岩城様：ホームが安心して帰りたいと思える場所になっている。居場所があるという事はありがたい。

入居者様：たのしく過ごせています。

・質疑応答

隅田様：報告の苦情対応後に利用者の中でトラブルはなかったか？

→小山：状況の理解が難しい利用者もいるので、特にトラブルにはならなかった。

宇佐美様：私が自治会長になって3年目になるが苦情は受け付けたことがない。利用者の金銭管理はどの様になっているのか？

→遠藤：利用者の金銭管理は基本的に職員が行っている。毎日のジュース代や週末のお買い物のお小遣いは職員がその都度手渡している。利用者が欲しいものは要望を聞いてお金を渡している。

出納帳は後見人やご家族に確認をしてもらっている。

宇佐美様：無学で申し訳ないが永耕会や永耕園のことが良く分からないので教えて欲しい。

→河辺：永耕会は入所施設の永耕園と光海学園、地域生活施設の永耕会ホーム、通所施設のデイセンター永耕がある。最近はなるべく地域移行を行うようにとの流れがあり、ホームで生活する人が増えている。

新井様：私は千代に新しい事業を始めようと準備を進めている。障害のある人もない人も老若男女が地域で支え合って仲良くできる環境がこの地域にはあると思う。

→河辺：永耕園の利用者は昔から地域の方たちにお世話になっていた。駅前の商店街にお買い物に出かけトラブルがあれば連絡を入れてくれていた。良い関係性ができているのではないかと思う。

廣澤様：報告に防災訓練があったが、訓練の際に非常ベルは鳴らしているのか？

→遠藤：訓練の際に非常ベルは鳴らしていません。

→廣澤様：明星会のホームでは時々非常ベルを鳴らして訓練に緊張感を持たせるようにしている。ただ、一度周辺への告知を怠り、非常ベルが鳴っているが大丈夫か？と苦情を受けてしまった。

岩城様：利用者の日中作業について教えて欲しい

→香川：永耕園やデイセンター永耕では外から仕事をもらってくる外注作業と内部で行う創作作業がある。搜索作業は機織りや陶芸、外注作業はボールペンの組み立てがある。外注作業は出荷して工賃をもらうので、利用者にとってもやりがいのある作業だと思う。

隅田様：ホーム経営でのお金の流れを知りたい。

→河辺：利用者にはホームの家賃と光熱費、食費を負担してもらっている。職員や世話人などの給料やホームの維持管理費については国や市からの給付でまかなっている。

隅田様：大変勉強になった。

宇佐美様：知らなかったことを知れて良かった。勉強になった。

◇ 12時終了 出席のお礼としてデイセンター永耕パン工房ジョイのパン詰合せをお渡しした